



秋雨前線の影響で、白帆祭体育の部は延期に次ぐ延期ですが、3年生の皆さんは、進路に向けて落ち着いて取り組んでいるのでしょうか？先週末の第1回推薦会議では37名の推薦が内定し、一昨日、推薦内定者を集めての指導が行われました。センター試験には昨年とほぼ同数の329名が出願し、現在、一括出願に向けての点検作業が行われています。

先輩方から キャンパス レポート (2)

『異文化に触れる』

安川 麗

武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科 油絵専攻

千葉西高校のみなさん、こんにちは。私は武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻に在籍しています。この大学の授業は実技と学科の2つがあります。実技では自分の作品を制作し、完成した際に教授から講評を受けます。教授は実際に芸術家として活躍されていて、ならではのディープな話が聞くことができ貴重な経験になります。学科は自由選択制となっており、たくさんの科目の中から自分の興味のある科目を率先して学べます。また図書館が魅力で外観がかっこよく、蔵書も豊富です。私は、大学に入る意義は何か？と考え、“専門的な学びを受けられることだ”と考えていました。しかし実際に大学に入り、その他に“人との出会いの大切さ”を痛感しました。大学には今まで自分が考えたことの無い面白い視野を持つ人や、変わった趣味を持つ人、人生経験の豊富な教授など、刺激をくれる出会いがたくさんありました。そのような出会いは自分を豊かにしてくれる素敵なものだと思います。これからそれぞれの道に進むみなさんにも、そんな出会いがあると思うので楽しみにしててください。私の受験勉強は実技がメインでしたが、それでも日々の小テストが活かされたので、小さなことも大事にしていればきっと役に立つと思います。受験は苦しい時もあると思いますが1番に自分を信じて、そして周りの人と支えあってがんばってください。

『教員を目指すのに最適な場所』

永瀬 敦也

日本大学 文理学部 教育学科

皆さんこんにちは。私は日本大学 文理学部 教育学科に在籍している卒業生です。教育学科のみならず、文理学部には教員を目指す学生が多く集まっていて、ほぼ全ての教員免許を取得することが可能です。そのため、全ての学科が連携していて、他学科聴講も盛んです。社会科の教員を志す私も史学科、社会学科、心理学科などの講義を受けて、日々勉強に勤しんでいます。卒業に必要な単位に加え、中学校の社会、高校の地理歴史、公民の3つの免許の取得のために必要な単位もあるため、とても忙しいです。しかし、それが苦になることはありません。沢山の講義を受けることで様々な知識を得ることができ、充実した日々を過ごしています。今年、世間を騒がせた日本大学ですが、文理学部の学生はそんなことには目もくれず、集中して学習しています。やはり、教師になりたいという明確な目標を持っているためでしょう。この場にいると、自然と勉強しなければという気持ちになります。このように、モチベーションを上げてくれる空間と、先述した通り、ほぼ全ての教員免許を取得することができるという点で、日本大学文理学部は教員を志す学生にとって、最適の場所と言えるのではないのでしょうか。

正直私はこの大学が第1志望ではありませんでしたが、今は大学生活を満喫しています。また、5教科7科目を勉強したことは、幅広い知識を得たとして、現在、そして将来の私の大きな財産になることでしょう。そのため、悔いはありません。皆さんも受験勉強を通して様々なものを得ることができると思います。明確な目標を持つことで、より勉強に対するモチベーションが上がります。皆さんも目標を持って、そしてその目標に向かって、頑張ってください。応援しています。

千葉西高校のみなさん、こんにちは。私は現在、順天堂大学 医療看護学部 に在籍しています。私の通っている浦安キャンパスは、医療看護学部しかないため、キャンパス自体はこじんまりとしていますが、私はこれはこれでアットホームでいいなと思っています。また、看護学部では多い方だと思うのですが、一学年に200人いるので、個性的な人にたくさん出会えます。授業自体は200人一斉に受ける授業だけでなく、少人数のグループに分かれて行う授業が何個もあるので、嫌でも友達は出来ると思います！笑

授業の内容としては、前期では看護専門の科目はまだ少なく、一般教養となる科目が多かったです。また、前期だけ、週1で千葉県内のさくらキャンパスでの授業がありました。さくらキャンパスはスポーツ系の学部があるため、普段出来ないスポーツをスペシャリストの方が教えてくださり、貴重な体験が出来て楽しかったです。

最後に受験についてですが、とにかく最後の最後まで諦めないでほしいです。私はこの大学が第一志望だったのですが、模試の判定はいつもD判定どまりで、なんてこった状態でした。さらに私は補欠合格で、合格が決まったのは3月30日でした笑。本当にギリギリもいいところです。しかし、なんとか入ることができたのは、やはり最後まで諦めなかったことが強いかなと思います。勉強は大変できつくて辛くて、やめたい！と何度も思うと思います。私はやりたくない時はもうやらないようにし、その罪悪感でまた復活したりしていました。息抜きをしながら自分に合う勉強の仕方を見つけて、他人に惑わされずにぜひ、がんばってください。応援しています！

① 【 1年生：7月記述模試の結果から … 国高・数低のスタート 】

1年生にとって初めての全国規模の模擬試験(受験者数49万人)でしたが、学年全体を過去数年間と比較すると、国語で過去最高、いっぽう数学は過去最低からのスタートとなりました。総合偏差値は約51。この数字は高校受験時の自分の偏差値と比較しておそらく10ほど低く、今回の模試の結果を見て愕然とした生徒もいると思います。しかし、これが大学進学希望者の中での自分の今の位置である事を理解し、ここからスタートしましょう。先輩達もほぼ同じ数字からスタートしています。

現1年生から新しい大学入試が始まり、先が見えない不安があるとは思いますが、まずは今回の模試結果から見える自分の課題点を洗い出し、正しく認識してください。学問に王道はありません(There is no royal road to learning.)。高校生活の基本である授業に毎時間、真剣に取り組む、家庭学習も2時間を目標に継続する(2時間は無理でも、毎日必ず机に向かう習慣は絶やさないでください)。日々の積み重ねは、2年後に必ず実を結ぶはずですよ。

